

## 令和4年度 第1回 神久呂小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年4月25日（月） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 神久呂小学校 会議室
- 3 出席委員 谷野 協司、和久田 明弘、谷井 文明、中村 典子、尾高 理恵、  
新村 貴文、川尻 尚純、渥美 洋乃
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 山田 英明（校長）、中村 憲司（教頭）、辻村 真一（教務）、  
野澤 邦宏（CS担当）、早瀬 富美子（CS担当）、伊藤 由紀（CS  
ディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（浜松市教育委員会教育総務課指導主事）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
  - (1) 会長の選出及び副会長の指名について
  - (2) 議長の選出について
  - (3) 熟議
    - ①令和4年度学校運営の基本方針について
    - ②夢育やらまいか事業に対する意見書について
- 9 会議録作成者 伊藤 由紀（CSディレクター）
- 10 会議記録

司会の新村委員から、委員総数8人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

  - (1) 会長の選出及び副会長の指名について  
司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、中村委員から谷野委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。  
また、その後、会長に選任された谷野委員から、和久田委員を副会長に指名する旨の報告があった。
  - (2) 議長の選出について  
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、谷井委員の立候補により、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。
  - (3) 熟議
    - ① 神久呂小学校運営基本方針について  
議長の指示により、山田英明校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・たけのこ掘りは、10年以上続いている神久呂小学校ならではの活動であり、地域の自然と密接した体験活動としてとてもよいと思う。(谷井委員)
- ・学校経営目標として「自己有用感をもった子供を育てる」とあるが、学年ごとにめざす子供のビジョンを紹介して欲しい。(谷野会長)
- ・自己有用感とは具体的にどのようなことか。(新村委員)
- ・自己有用感とは、自分が人の役に立っていると感じることである。そのことによって自信がつき、その自信が社会で生きていくための原動力となる。そのために生活の中で子供たちに教師や子供たち同士が声を掛け、認めていく。(校長)
- ・自己有用感について子供たちや保護者に向けて、理解できるよう分かりやすく伝えてあげて欲しい。  
(和久田副会長)
- ・子供たちや保護者に分かりやすく発信することが大切と感じた。子供たちは『気づき、考え・行動する』は言えるが、さらに学校、家庭、地域でも意識していただくことが大切である。貴重な御意見ありがとうございます。(教頭)
- ・先生方にとって働きがいのある学校という面で、子供たちの成長を見て充実感を感じるということもある。そして、学校として教職員を育てるための考えも聞いていきたい。(谷野会長)
- ・保護者としての立場で見ても、神久呂小学校の子供たちは純粋な子が多く、温かい子供に育っている、と嬉しく思っている。(中村委員)
- ・「スマイル発見」という取組は、人のよいところを見付けられる大人になるために、すばらしい取組だと思う。(尾高委員)
- ・「たけのこ掘り」は家庭ではなかなかできない神久呂地区ならではのすばらしい体験だと思うので、そういった体験活動をやって欲しい。(渥美委員)
- ・「たけのこ掘り」に参加したが、よく知っている農家の方にたけのこの説明や掘り方の説明をしてもらえると、活動に広がりもできて充実した体験となる。また、今後も竹を使った流しそうめん、竹林見学等を取り入れていくとよい。  
(谷野会長)

#### 協議の結果、全員異議なく神久呂小学校運営基本方針について承認した。

- ② 夢育やらまいか事業に対する意見書について  
議長の指示により、中村憲司教頭から、夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・たけのこ掘り、花の苗を植える、ともによい活動だと思うが、その課程の大変さや、片付けなど、やりっぱなしにならないようにすることで生命の大切さを学ぶことも重要。(和久田副会長)

#### 協議の結果、全員異議なく「夢育やらまいか事業に対する意見書(案)」について承認した。

#### (4) その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和4年6月24日(金)午後2時から神久呂小学校会議室で開催する旨の連絡があった。